

TAC建築士講座 無料オンラインセミナー

一級建築士学科試験 壮行会
井澤からの最後のハウツー(HOW TO)

一級建築士学科 オンラインライブクラス 担任
Web フォロー・ビデオブース講座・Web 通信講座 担当
井澤 真悟

1. ケアレスミスを防ぐ方法
 - (1) マークミスを防ぐマークの方法
 - (2) 問題冊子へのチェックの方法
 - (3) 問題を一字一句丁寧に読むこと。法規以外は2回読むつもりで。
 - (4) 「AはBよりも大きい。」「〇〇が大きくなるほど、小さくなる」という問題を解くときの注意点
 - (5) 計算問題は計算過程を残し、見直しできるようにする。
 - (6) 問題の前文を読み飛ばさないこと。
2. 新規問題が答えである確率が高い？低い？
3. 「〇〇な場合がある。」「〇〇なことがある。」という設問は正肢！
4. 「実例建築物」初めて見る建築物名でも諦めるな！
5. 科目ごとに問題を読むスピードを変える？ 試験当日の時間配分
6. どの問題から解くのが良い？
7. 本試験で実力を出し切るための気持ちの整え方
8. 実際、本試験の空気感はどんな感じ？
9. TACのラストスパートレパトリー
10. 気になる本試験後の設計製図試験への流れ

1. ケアレスミスを防ぐ方法

(1) マークミスを防ぐマークの方法

- ・毎年、本試験後に自分が正しくマークしたか心配、という人が出る。
- ・マークミスで不合格になるほど悔しいことはない。
- ・1問ずつマークするのではなく、問題冊子に解答番号をチェックしておいて、最後に**まとめて一気にマーク**する。もしも最後にマークする時間がなくなるのが心配ならば10問ごとにマーク。
- ・同じ作業は同じときにまとめて行うのが時短テク。
- ・先に小さく**チェックし、ダブルチェック**して、マークする所に間違いがないことを確認してから塗りつぶす。受験番号も！

No. 1	㊟	②	③	④
No. 2	①	②	㊟	④
No. 3	①	②	㊟	④
No. 4	①	㊟	③	④
No. 5	①	②	③	㊟

⇒

No. 1	●	②	③	④
No. 2	①	②	●	④
No. 3	①	②	●	④
No. 4	①	●	③	④
No. 5	①	②	③	●

「先に小さくダブルチェック」の例

- ・後回しにした問題はマークシートに印を付けておく。
どれを後回しにしたかを問題冊子の中で探す時間ももったいない。

(2) 問題冊子へのチェックの方法

- ・「○」「×」「？」だけでなく「○?」「×?」「N (New : 新規問題)」を付ける。
- ・「○?」「×?」を付けておけば、最後に見直す時間がなくなったときに「×?」を選べる。
- ・「N (New : 新規問題)」は、たいてい後から見直して時間をかけて考えても分からない。

1.	〜	?
2.	〜	○? --- 正しいかな?
③	〜	×? --- 誤りかな?
4.	〜	N --- 新規問題

問題冊子へのチェックの方法

(3) 問題を一字一句丁寧に読むこと。法規以外は2回読むつもりで。

- ・「きっと過去問のままではなく、どこか変わっている、間違いかもしれない」と思って読む。**1回目に丁寧に読むこと**。1回目に読み間違えると、思い込みでもう一度見直しても読み間違いに気付けないことが多い。

- ・分子と分母の逆転の誤肢に要注意。
 - ・記述はそれらしいことが書いてあっても**主語が違う誤肢**に要注意。
-

【例】計画 No. 110 (R0420-2)

不動産分野におけるアセットマネジメントとは、不動産を取得する際に、適正な投資価値を算出するために、物件の将来の収支の正確な予測を行うことを目的とする多角的な調査のことである。(誤)

→ 設問は、デュー・デリジェンスの説明である。

(4) 「AはBよりも大きい。」 「OOが大きくなるほど、小さくなる」という問題を解くときの注意点

- ・設問の一番最後を見る前に、自分のロジックで覚えた内容を書き出す。
-

【例】構造 No. 741 (R0725-3)

鉄骨造の筋かい付き架構の構造特性係数 D_s は、(中略)筋かいのない架構の構造特性
大 韌性 → D_s は韌性で小
係数 D_s に比べて、小さくすることができる。(誤)

【例】施工 No. 346 (H2711-3)

コンクリートの乾燥収縮のひずみ度は、
部材の体積表面積比 (体積/表面積) が大 小 となるほど、小さくなる。(正)
大 小 → 大

(5) 計算問題は計算過程を残し、見直しできるようにする。

(6) 問題の前文を読み飛ばさないこと。

- ・「適当なものはどれか。」
- ・「都市計画区域内における次の行為のうち、確認済証の交付を受ける必要がある (or ない) ものはどれか。」
- ・「不燃材料等について、国土交通大臣が定める「これに準ずる措置が講じられたもの」には該当しないものとする。」
- ・(消防法)「無窓階を有しないものとする。」

2. 新規問題が答えである確率は高い？低い？

- ・新規問題が答えである確率のイメージ
20%ぐらい。通常は四肢択一だから25%。
- ・安易に新規問題を解答にしない。
見たことのない問題、法規では法令集で見つからない問題を答えにしがち。
それよりも「本当に不燃材料？準不燃材料じゃないか？」と過去問の誤肢の論点に着目するほうが大事。
- ・新規問題以外の過去問とその応用問題から、消去法で新規問題を答えに選べる力が真の実力。あいまいではない、過去問の確実な知識が真の実力。

3. 「〇〇な場合がある。」「〇〇なことがある。」という設問は正肢！

【例】環境 No. 11 (R0502-3, H2902-1)

予測平均温冷感申告 (PMV) は、主に均一な環境に対する温熱快適指標であることから、不均一な放射環境、上下温度分布が大きな環境、通風環境等に対しては、適切に評価できない場合がある。(正)

→ 「適切に評価できない場合がある」ということは逆に「適切に評価できる場合もある」と言っているので、誤りにはなりえない。

→ 「絶対に適切に評価できる。」又は「絶対に適切に評価できない。」という内容について「場合がある」という表現はしない。

【例】環境 No. 221 (R0308-3)

LED等の人工光源から発せられる光は、相関色温度が等しくても、異なる光色に知覚される場合がある。(正)

【例】環境 No. 229 (R0307-4)

平均演色評価数 (Ra) は、相関色温度が同じ光源であっても異なる場合がある。(正)

4. 「実例建築物」初めて見る建築物名でも諦めるな！

初めて見る建築物名であっても、「記述内容は他の建築物の特徴ではないか？」という視点で記述を吟味する。

【例】計画 No. 11 (R0117-4)

アスペン美術館（坂茂）は、建築物の中央部にアトリウムがあり、アトリウムに面した螺旋状のスロープによって、最上階から地上階まで連続した空間となるように計画されている（誤）

→ 設問は、グッゲンハイム美術館（フランク・ロイド・ライト）についての記述である。

5. 科目ごとに問題を読むスピードを変える？ 試験当日の時間配分

① 計画、環境

・時間が余るから、問題をじっくり1字1句丁寧に2回読むつもりで解く。

② 法規

- ・計画、環境のじっくりモードから**頭を切り替えて**、スピード命。
- ・新規問題、告示問題など、難しい問題が続くと時間配分はだいぶ乱れる。それを踏まえて**10問35分ペース**を目安にする。つまり過去問だけだったら10問35分よりも早いペースが求められる。
- ・法規は12：55～14：40。試験開始と同時に問題冊子のNo. 10のあとに13：30、No. 20のあとに14：05、No. 30のあとに14：40と書くマークシートの時間も考慮する。

③ 構造、施工

- ・図表・計算問題など、初めて見る問題は後回し。
- ・マイペースで。特に力学で時間を使いすぎないように。はまらないように。深入りしないように。執着しないように。
- ・いつもだったら解けるはずの、例えばトラスの計算結果が選択肢になかったときにはまりやすい。計算過程を見直して間違いが確認できなかつたら**いったん後回しにして戻ってくる柔軟性**も必要。後で戻ってきたらきっといつもどおり解ける。
- ・もしも計画、環境、構造、施工が難しい問題が続いて時間が厳しくなってきたら、**法規の要領**で解答番号が分かったら次の問題に飛ぶ。

6. どの問題から解くのが良い？

- ・ どの問題から解くと良いという正解はない。
- ・ 例えば法規では、関係法令から解く、計算問題から解くといった、解く順番の定石はない。その年によって難易度が異なるため。
- ・ どのような順番で解く場合であっても、大事なことは「**解ける問題から解く**」こと。
難しい問題に時間を費やしたせいで、解けるはずの問題を解けなかったということがないようにすればよい。

7. 本試験で実力を出し切るための気持ちの整え方

(1) 直前期の気持ちの整え方

- ① **令和8年本試験はきっと易しい！**
- ② **1日1点伸びるだけで、1週間で7点も伸びる！**
- ③ **100%の力を出せなかったらどうしようと不安になるときは・・・**
誰でも緊張する。100%の力なんてそうそう出ないのが当たり前。
80%の力で合格できるように実力を上げることを考える。
- ④ **緊張するのは当たり前。**
緊張しないのは合格する気のない人、記念受験の人だけ。
- ⑤ **すべての不安は合格後には成功体験に変わる。武勇伝に変わる。**
合格者がみんな通ってきた道。
- ⑥ **最後に差が付く「TAC力」！**
「2択までは絞れるのに」ということが多い。
TAC生は項目別問題集で1肢ごとに正誤を考える訓練を続けてきたことに自信を持って。
- ⑦ **得点に直結する勉強を**
直前期は今やっている勉強が
 - ・ 得点に直結する勉強をしているのか、
 - ・ 実務目的やなかば趣味、こだわりだけになっていないか、を自覚することも大事。

(2) 本試験当日の気持ちの整え方

① 満点を狙わない

- ・72%の正答率で合格できる試験
- ・初めて見る問題は後回し

② 難しい問題が出題されるのは当たり前！そこでは差が付かない！

③ 「できないのは私だけ」と独りで落ち込まない

計画、環境・設備が終わった時点で「できないのは私だけ」と独りで落ち込んで、その後力が発揮できず、フタを開けてみたら合格まであと1点だったのに、ということがないように、「試験終了」のその瞬間まで集中して1点を取りに行く。

④ 余裕をもって行動すること

- ・余裕をもって行動すること、忘れ物をしないことはキホンのキ。
- ・昼食を朝に買う時間も考慮する。
- ・試験場に時計がないことがあるので必ず持参。もちろんスマホは使えない。
- ・エアコンの効きすぎに備えて羽織るものを持っていく。

⑤ 本試験当日の資料

- ・資料をたくさん持って行ってもほとんど見る時間はない。
- ・休憩時間中は頭をリフレッシュさせて本試験の集中力を高めるのも有効。

⑥ 根拠のない自信も大事！

8. 実際、本試験の空気感はどんな感じ？

① 本試験の疲労感と糖分補給

- ・よくあるのが「計画で心を折られて、法規で疲労困憊ふらふらになって、その中で構造、施工を解く試験」
- ・その時の気持ちの整え方で2点、3点変わる！
「今年絶対に合格する」という強い気持ちが結果を変える！
- ・糖分補給も大事。
事前の直前テスト（模試）等で準備すること。歯磨きしたくなるかも。

② 法規前の休憩時間に離席できるのは原則30分。

- ・法令集チェック中に席で昼食はとれるけど。
- ・昼食は朝に買っておく。

③ 試験開始時間は昨年よりも5分早くなっている

9:25～9:40 (15分)	注意事項等説明
9:40～11:40 (2時間)	学科Ⅰ (計画)
	学科Ⅱ (環境・設備)
(1時間)	休憩
(内 12:10～12:40 (30分))	法令集チェック
12:40～12:55 (15分)	注意事項等説明
12:55～14:40 (1時間45分)	学科Ⅲ (法規)
(20分)	休憩
15:00～15:15 (15分)	注意事項等説明
15:15～18:00 (2時間45分)	学科Ⅳ (構造)
	学科Ⅴ (施工)

- ・法規前の休憩時間に離席できるのは原則30分。
- ・法令集チェック中に自席で昼食をとることはできる。

9. TACの ラストパート レポートリー

Course		
令和8年向け(2026年受験)		
一級建築士	二級建築士	直前対策・模試

オンラインライブクラス定員100名

一級学科 学科直前パック

開講 2026年6月開講
講義 全8回(まとめ講義全4回・直前テスト全4回)

厳選問題・数値の問題の総点検！

令和8年試験に向けて開講する最後の対策講座です。厳選された出題ポイントを総チェックしたうえで、本番と同じような形式で予想問題をあびるよう解いていただきます。

オンラインライブ・Web通信・教室
¥66,000~
(教材費・税込)

一級学科 井澤式ゴロ合わせ集

教材販売のみ 申込後、即時PDF配布

本試験10点アップ級！必ず押さえない差が付く120テーマをゴロで一気に総復習！

これだけは押さえておきたい厳選120テーマ(→142テーマになりました！)について、絶妙なゴロ合わせと例題をご用意しました。暗記に王道も邪道もなし！覚えた者勝ちです。

教材販売のみ
¥5,500
(教材費・税込)

一級学科 令和8年やまかけ！ 実例建築物・建築作品・建築史 厳選92件テスト

教材販売のみ 申込後、即時PDF配布

新出問題が多い厄介な「実例建築物等」ズバリ予想！厳選92件をテストにしました！

新出問題が多く、暗記する範囲もキリがない「実例建築物・建築作品・建築史」。この「落とし穴」となりかねない「実例建築物・建築作品・建築史」について、この業界一筋の井澤がズバリ予想！厳選92件の渾身の予想テストをご用意しました。

教材販売のみ
¥2,200
(教材費・税込)

申込後すぐWeb講義視聴可能！

一級学科 法改正出題予想講座

開講 2026年4月開講
講義 全2回(1回150分)

直近の法改正は超頻出！ほんと〜によく出ます！

令和8年試験に向けておさえておくべき法改正を、全てまとめて一気に解説します。さらには、毎年の中の予想演習問題も使って実践的に解き方をレクチャー！厄介な法改正の整理はTACにお任せください！

オンラインライブ・Web通信
¥11,000
(教材費・税込)

申込後すぐWeb講義視聴可能！

一級学科 法規「告示」出題予想講座

開講 2026年5月開講
講義 全3回(150分×2回,70分×1回)

難解かつ膨大な告示！出題可能性が高いものを厳選解説！

難解かつ膨大な数の告示の中から、試験対策として必要かつ十分な50本(TAC法令集「本編」に掲載の42本+「追録」に掲載の新設告示8本)を厳選！渾身の予想問題も使いながら、対策方法を丁寧に説明します。

オンラインライブ・Web通信
¥11,000
(教材費・税込)

成績処理なし、教材販売のみ受付中

一級学科 法規特訓テスト

受験形態 教材販売のみ

本試験3回分 [オリジナル問題] を一気に解く！

今年度の本試験を予想したオリジナル問題を3回分をご用意しました。TACが厳選した良問を1日であびるよう解いて、法規への対応力を抜群に上げましょう！

教材販売
¥5,500
(教材費・税込)

10. 気になる本試験後の設計製図試験への流れ

別紙「井澤ひとり感想戦」チラシ、
「学科ー設計製図コネクト講座」チラシを参照。

粘れ！

最後まで食らいつけ！
最後の最後まで悪あがき！

集中！

1点を取りに行け！
1点が合否を分ける！

大丈夫！

きつとうまくいきます！

祈合格